



## 伊里前小学校だより 夢・志「伊小っ子」

2025年6月27日  
No. 4  
TEL 36-2005  
FAX 36-2951

学校教育目標：命とふるさとを大切にし、「志」高く生きる児童の育成

目指す子供像：☆自ら学び考える子供 ☆思いやりのある子供 ☆進んで運動する子供  
☆協力して働く子供 ☆命とふるさとを大切にする子供

心も体も元気な子供を育成するために 家族みんなではやね・はやおき・あさごはんを実践しましょう!!

# また行きたい！ 野外活動、遠足！



6月18日（水）から20日（金）の3日間、志津川自然の家において5年生が野外活動を行いました。「自然を感じ、笑顔でチャレンジ！」のテーマの下、子供たちは様々な活動にチャレンジしていました。いかだ作りや野外炊飯などを通して、みんなで協力することの大切さも学んだようです。力を合わせて作ったカレーライスは最高の味でした。帰校した5年生の姿は、一回り大きくなったように見えました。

全員集合！ 海岸散策では思わぬ発見も…？

バナナボート。「もっと乗りたい！」  
という声がたくさん聞かれました。



1・2年生は5月29日（木）に、3・4年生は6月13日（金）に、遠足を実施しました。1・2年生は「モーランド本吉」、3年生は「南三陸町ひころの里」の他「ネイチャーセンター」「震災復興祈念公園」、4年生は「仙台市科学館」「東北歴史博物館」へ行ってきました。どの学年の児童も笑顔で帰校し、充実した時間を過ごしてきました。

野外活動や遠足での学びを今後の学校での学習に生かしていくように取り組んでいきます。準備等において、保護者の皆様に御協力をいただきました。ありがとうございました。



1・2年生。おいしいアイスクリームを作って食べました。



3年生。ネイチャーセンターのオジロワシのはく製は大迫力。



4年生。科学館で飛行機やレーシングカーのコクピットにも乗りました。

# 7月の主な予定

月	火	水	木	金	土	日
6月30日	7月1日	2日	3日	4日	5日	6日
	学習参観日 学年懇談会 地区懇談会 PTA本部役員会	クラブ活動	3年校外学習 (及善)			
①～⑥14:25 完 15:00	①～⑥14:25 完 14:30	①13:10 ②③13:55 ④～⑥14:45 完 15:00	①13:10 ②13:55 ③～⑥14:45 完 15:00	①～③13:10 ④～⑥14:45 完 15:00		
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
5年校外学習 (南三陸杉) 教育相談	避難訓練 (不審者) 教育相談	トリニティ大学 学生訪問 教育相談	たてわりタイム 教育相談	着衣泳(未定) 教育相談	9日はトリニティ大学学生の訪問があるため、1年生も5時間授業になります。	
①～⑥14:10 完 14:15	①～⑥14:10 完 14:15	①～⑥14:10 完 14:15	①13:30 ②～⑥14:10 完 14:15	①～⑥14:10 完 14:15		
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
教育相談予備日	SC来校日	水泳記録会壮行式 クラブ活動	SSW来校日	1学期終業式		
①～⑥14:25 完 15:00	①②14:25 ③～⑥15:15 完 15:50	①13:10 ②③13:55 ④～⑥14:45 完 15:00	①13:30 ②14:25 ③～⑥15:15 完 15:50	①～⑥ 13:55 完 14:00		
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
夏季休業日 (～8/25) 海の日	算チャレ予選 いじめ防止対策委員会	南三陸町小学生 水泳記録会	水泳記録会予備日	たつがねっ子見守り隊情報交換会 プール開放日		
28日	29日	30日	31日	8月1日	2日	3日
プール開放日	プール開放日	プール開放日	プール開放日			

※行事予定はやむを得ず変更する場合があります。各学年からのお便りや連絡を通して、その都度御確認ください。

※①～⑥は、各学年のおおよその放課時刻です。また「完」は完全下校時刻を表しています。

## その言葉、相手を傷付けていませんか？

子供たちが日々の生活や友達との関わりの中で交わす「言葉」は、心を通わせる大切な手段です。しかし時には、何気ない言葉が相手を傷付けてしまうことがあります。本校では、子供たちが相手を思いやる「やさしい言葉遣い」を身に付けられるよう、日々の生活の中で言葉の大切さについて指導しています。また、自分の言葉や行動で相手を傷付けてしまったときは、すぐに気付いて謝ることの大切さも繰り返し伝えています。

しかし最近、学校生活の中で友達同士の言葉のやりとりにおいて、相手を不快にさせたり、傷付けてしまったりする場面が見られることが増えてきているように感じます。冗談や軽い気持ちで言った一言が、相手にとっては深く心に残り、深刻なトラブルにつながることもあります。もちろん、「死ね」「殺す」といった類の言葉は、いかなる状況であっても許されるものではありません。子供たちはまだ成長の途中であり、時には感情のままに言葉を発してしまうこともあります。しかし、自分の言葉がどんな影響を与えるのかを度々振り返り、「やさしい言葉」「相手を大切にする言葉」を身に付けることが、日々の生活の中でも、これから社会に出ていく上でも非常に重要です。本校では今後さらに、相手を思いやる言動についての指導に尽力してまいります。

学校だけでなく、御家庭での言葉遣いが子供たちに与える影響も大きなものがあります。ぜひ御家庭でも、日々の会話の中で言葉遣いに目を向けていただき、必要に応じてお子さんに声を掛けさせていただきますようお願い申し上げます。

